



【 Y. H. さんの巻 後編 (S. 48 生れ 女 潰瘍性大腸炎 鹿児島県在住) 】

<そう、厄介な病気で長期戦ですからねえ。>

最初の一ヶ月間、便の様子は便らしい形でしたが相変わらず血液が混じっていて余り代わり映えした雰囲気でもなかったのですが、二ヶ月目になると少しずつ排便が規則正しくなってきました。私はスイマグを止められていたのですが、それでもリズムが正しくなってきたということは確かに改善の兆しだったのです。そして更に一ヶ月半経ちますと次第に下血量が少なくなってきたではありませんか。



(スイレン)

食事療法を始めて約半年、六月初めにはとうとう出血を確認できなくなってきました。何となく手応えを感じつつなお半信半疑で内視鏡検査を受けてみましたところ、不思議なことにあれほどひどかった炎症が何と結腸から消えていたではありませんか。そのことを甲田先生にご報告申し上げますとニコッとされて「治る、治るぞ。これでもうステロイドは止めましょう。」待望のお言葉でした。薬と縁が切れて自立した体になれるんだ、やっとここまで辿りついたと感慨深いものがありました。このとき体重は当初からすれば12kg減でまるで「骨皮筋子」でした。痩せてヒョロヒョロでしたが、自分の感覚として体調は良いので傍目で見るとは気になりませんでした。とはいえ、一直線には参りません。夏も終わりの頃、病院の定期検査で肝機能の値が悪化していると指摘されたのです。それにその少し前から生理が止まったままだったことも少々気掛かりではありました。痩せたのだから仕方のないことだ、と自分に言い聞かせました。甲田先生のお見通しも「皆さんよくそういうことがあります。心配せずに裸療法をどんどん行くと肝臓も腸も良くなります。」とのこと。このことを期に裸療法の意味を再認識し、キッチリ実行するようになりました。すると答えがチャンと出ました。というのも1ヶ月後の肝臓検査での値が元に戻って正常範囲に入ったのです。また腸の動きも活発になり、吸収力が高まってきたのか体重が増加に転じ始めたのです。そうなりますと体力が徐々についてきてやがて生理も戻ってきたのです。少しずつですが、やはり体に変化してきたのです。そのことは秋になりますとはっきりしてきました。苦手だった温冷浴でしたが、そのお蔭で素肌が生まれ変わったように輝いてき、長年の膝関節痛もほとんど消えました。外出時はトイレのあり場所を常に意識していたのがそれも薄れ、精神的にも楽になって行動が前向きになってきます。ここに至り療養の成果をはっきり確認できた嬉しい年末となりました。

<そうでしたね、電話の声が明るくなっていましたねえ>

明けて平成16年。引き続き好調を維持して、ますますこの甲田療法に確信が湧いてきます。風邪らしいものも引かず、スタミナが徐々に付いてきました。甲田先生からも「良くなってきたなあ、もう一踏ん張りやでえ」と励ましを頂き、機嫌良く毎日を送れます。次の目標は十分な体力をつけ断食を行うことです。半年間待って、7月にようやく時機到来。「毎月五日間なら…」と、先生のご承認を得まして重湯断食をすることになりました。断食なんて生まれて初めてです。五日間も本当にできるかしら？ また痩せるんだろうな？ おっかなびっくりで始めてみましたところ、案に反してラクに進めることが出来、折角のことだからもう一日、もう一日と結局10日間もやり通すことができました。びくびくモノ

のその間、幸い大した空腹感も苦痛もなく、不思議なことに体重減少も僅かで済み、しかも排便時に心当たりのない奇妙な砂状のものが出てきました。何だろう？潰瘍性大腸炎がまたぶり返したのだろうか？それともこれが＜宿便＞？それなら嬉しい話です。きっとそれに違いない！いずれにせよ断食をやり通せた満足感に溢れ、自信がつけました。これに気をよくし、体力回復を待つと同じように9月にまた重湯断食に挑戦してみました。するとやはり、前回同様ラクに軽く過ごせました。私の体はヤッパリ変わってきた！よくなってきた！甲田先生の本に書かれていたとおりに少食健康法で宿便が出たら潰瘍性大腸炎は治るんだ！ひとりでに笑みが湧いてきます。自然と誰かにこのことを思いつき話したい心境になってくるモノです。そんなとき甲田先生からお電話が…。「19日に宮崎県で講演会があるので私の体験談をぜひ皆さんに披露するように」とのこと。恥ずかしながら、50名ほどお集まりの方々に拙いしゃべりをお聞き願うことになりました。原稿をまとめていると改めて自分の軌跡に感慨を覚え、また今後の目標がより明確になってきました。

<それはすごい成長ですね！>

ところで講演会場で甲田先生に久しぶりにお会いしたら、「元気そうやなあ、ちょっと」と仰って不意にミニ診察を受けることとなりました。「ご主人よりも元気そうないい顔色や、それに宿便がよ一けでたなあ。うん、これは……完全に治ります。」エエッ！「この調子でいけば今後は…2ヶ月に一回10日間の重湯断食をして、その後来春あたりに水だけの本断食を二度ぐらい…それで片づくでしょうから来夏には全快祝いを出来ますねえ。」ホントー！実に明確な見通しを告げられて私は一瞬目をパチクリ…

こんな訳で、今年の後半は重湯断食の回数を重ね病気の根治、体質改善を確実にすることが最大の目標と決めています。今はまだ色んな病気でこの療法を行ってられる皆さん方のレベルに立てた段階でしょうが、私にとっては薬に頼らずとも何の症状も出ない今の体を信じ、私を支えて下さった甲田先生や家族、皆さんに感謝しつつ進んでいく決意です。そうして、妊娠できるくらい健康を手に入れ、幸福を掴んでいきたいと願っています。

<萎れて枯れかかっていた樹が新葉をつけ始め蘇ってきたようですね。この調子で立派な枝をスックと張り広げ、見事な花を咲かせて下さい。どうもありがとうございました。>

編集後記： 爽やかな感じのHさんの未来が約束されているように思います。この厳しい療法をやっていける方は皆さん悲しみと素直さと希望を失わない信の強さを持っていると感じさせられました。 (Y)

発行：山田健康センター

〒581-0869 大阪府八尾市桜ヶ丘 2-76

電話 & FAX 0729-97-6177

営業日 月曜日～土曜日 AM9時からPM6時